

校長室だより



9月22日



能登豪雨により、土砂災害や河川が氾濫したため孤立集落が輪島市、珠洲市、能登町をはじめ 100 カ所以上あり、お亡くなりになられた方、行方不明者や安否不明者も数多くおられます。亡くられた方並びにご家族の方々にお悔やみ申し上げますとともに、被害にあわれた多くの皆様方に改めてお見舞い申し上げます。1月1日に発生した能登半島地震で被害にあわれ、ようやく完成した応急仮設住宅に身を寄せられた多くの方々も床上床下浸水により避難所生活を解消された人も。いったいどうなるのか心配です。地震からの復興さえもできていない、また復興に全力で頑張られていた方、復旧工事に尽力されていた工事関係者の方も被害にあわれました。「なぜ同じ地域にこのような自然災害が起こるのか」。今はテレビの情報しかありませんが、「悲しさ」と「祈り」しか言葉がありません。



令和6年は、元旦に能登半島地震が発生し、そして、お盆休みに入る直前8月8日に宮崎県日向灘沖で地震が発生し、お亡くなりになられた方、けがや住宅の損壊、津波など、多くの方が被害にあわれました。

この地震をうけて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」による特別な注意が出されました。特に1週間は注意が必要とのことで、本校としましても休業中ではありましたが、備蓄品の確認や緊急時の安否確認のための緊急連絡「災害用伝言ダイヤル 171」の再確認、そして再度、休業中に発生した場合の体制確認フローチャート等を作成し「マチコミメール」にて保護者の皆様方や教職員に送信し確認しました。

有事の際は、日頃、当たり前に使っている携帯電話（スマホ）や固定電話が繋がらない可能性が高いため毎年練習を行って参りましたが、「いざ」という時は慌てるのが当然のことです。加えて児童生徒全員の第一次避難所（可能性）チェック表や校区全体の南海トラフマップの作成も行いました。

地震発生から1ヶ月以上が経ちますが大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。今後30年以内に南海トラフ地震の発生する確率が70~80%程度とされていることには変わりありません。9月は、「不審者対応訓練」、そして過日「地震津波避難訓練」「非常食訓練」「災害用伝言ダイヤル171活用訓練」を行いました。育友会の皆様方とともに、そしてご理解のうえに、備蓄品や防災グッズの充実にも図って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は秋分の日「お彼岸」です。私もお墓参りやお寺さんに法要に来ていただきました。真西に夕陽が沈むお彼岸の中日。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、朝晩は少し気温が低くなり、日中も秋の気配を若干感じる季節に、ようやくなりつつあります。

今年は「お月見」のお月さんもとってもきれいに見えました。

2学期は、運動会や体験活動など、子供たちにとって、発表の場、探求の場、考える場、経験の場、そして大切な時間とし、社会でよく「生きる力」を培う貴重な「学び舎」となるよう頑張ります。

一人一人、かけがえのない「子供たち」の成長を願っています。

保護者の皆様、ご家族の皆様、地域、関係機関の皆様の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

